

主に妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を支える助産師。出産をサポートして赤ちゃんを取り上げるだけでなく、妊娠期や出産後の健康指導、乳房ケア、新生児の支援なども担う、いわば児童虐待をいち早く察知する地域の見守り隊でもあります。そんな県内の助産師達が数多く在籍する「一般社団法人茨城県助産師会」会長の磯山あけみさんと同会子育て・女性健康支援センター長の畠山みきさんにお話を聞きました。

**出産前後の母親を中心とした全ての女性の心身に寄り添う会**の発足から90年以上の歴史を誇り、県内約250名の助産師によって組織される茨城県助産師会・出産前後の母親をはじめ、女性の心身の健康課題に取り組むため、さまざまな事業展を開いています。

「いのちの教育」などを実施。そして災害発生時に母子やその家族を守る防災ハンドブックや防災支援ニューアルの作成のほか、産後ケア新型コロナに関わる相談・支援といった行政からの委託事業も行っています。また、5月5日「国際助産師の日」や11月3日の「いのちの誕生日」に主催イベントの開催など、ジャンレスで幅広い活動をしています。

口口ナオ駒でもオンライン研修で産師のスキル向上を図り、母子の健康は対面を基本とする途切れのない支援を継続しています。

「生まれてくれてありがとう」  
そのまま受け入れるサポート  
中でも児童虐待防止の一助とな  
っているのは、茨城県が全国で先駆  
て実施している出張産後サポート  
【茨城県助産師なんでも出張相談】  
です。これは、「授乳が上手くい  
ない」「育児不安を抱える新米マ  
マ様など育児不安を抱える新米マ  
マの自宅に県助産師会所属のスペци  
リストが訪れ、じっくり話に耳を傾  
けてフォローする取り組み。



妊娠期間の安心安全な出産・育児の準備をサポート

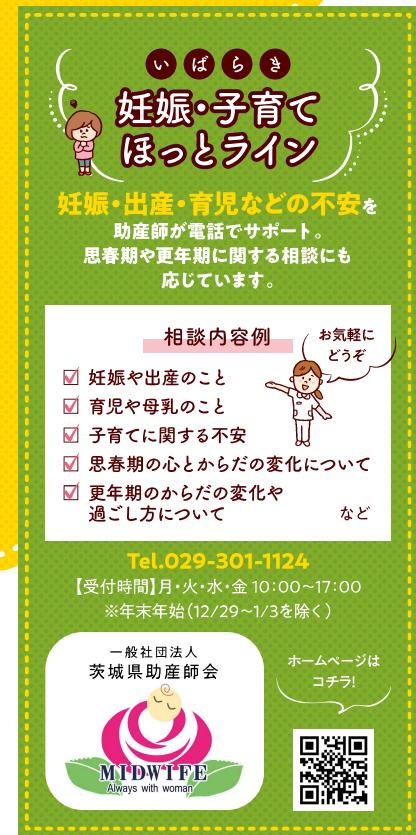


左から会長の磯山(いそやま)あけみさん、  
子育て・女性健康支援センター長の畠山みき子さん



すよ」と前向きになれる支援を心がけています」と子育て・女性健康支援センター長の畠山みき子さんは語ります。同じく県の委託事業である電話相談「いばらき妊娠・子育てほつ

とライ」でも、その姿勢は変わりません。児童虐待死の大半は〇歳児。それは望まぬ妊娠や出産が主な原因とされています。小中高校での「いのちの教育」は、正しい妊娠・出産の知識を伝えるとともに、「子どもやその親達に「生まれてきてくれてありがとう」と命の大切さを再認識することを大切にしています。



卷之三十一

主催 株式会社日宣メディックス(いばナビ／かしす／Couta／ひたっち／にしも／こがも)

维 A 酸治疗单纯性痤疮的疗效与安全性评价

後援 茨城県／鹿嶋市／神栖市／潮来市／茨城県警察／鹿嶋警察署／神栖警察署

認定NPO法人 いばらき子ども虐待防止ネットワーク および 認定NPO法人 塚童虐待防止ネットワーク

協力 認定NPO法人いはうき子どもの虐待防止ネットワーク／認定NPO法人光重山  
認定NPO法人落城NPOセンター／認定NPO法人コード／ひのき落城／NPO

認定NPU法人 次城NPUセンター・コモンズ／NPU法人 ノートバンク次城／NPU

KASHIMA  reMors  IBARAKI 

 Antelos  Tinley Park  ROBOTS

THE HORNBOOK  
DEPARTMENT OF THE HORNBOOK

<sup>28</sup> 三份遺稿或合計一冊，此處合併為二冊。參見《毛氏文集》。

 NISSEN MEDIX は、喫煙虐待防止に取り組みます

NISSEN MEDIX